

令和7（2025）年度事業報告書
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

特定非営利活動法人 参画プランニング・いわて

I 事業の成果

1 指定管理者制度運営代行事業

（1）盛岡市もりおか女性センター

国連を軸に国際社会は、男女共同参画社会に向けて着実な成果を挙げているが、他方で、欧米諸国を中心に右派政党が政権の座につき、移民や性的マイノリティを差別、排除する方向に社会が変わりつつある。こうした逆風の中で、地域における男女共同参画の推進主体である「センター」の啓発を中心とした活動の重要性がますます強まっている。

職員は経験年数1～3年の割合が増えており、育成段階ではあるもののアイデアを出し合いながら主体的に業務に取り組んだ。「チェンジ！誰もが自分らしく生きる未来へ」を事業テーマに、時代の変化に即した企画を立案し、ミッションであるジェンダー平等社会実現に向けて活発に活動を積み重ねることができた。

① 相談事業

深刻なDV被害ケースや、寄寓先のない高齢者のケースなど複雑で重い相談が寄せられたことが本年度の特徴であった。これらに対してケース検討会を細やかに開催して適切な対応に努めた。しかし、年度途中の退職者により欠員が続く一方で、相談は予期せぬ対応を要することも多く、繁忙を極めることが少なくなかったが、通常業務の維持に努めた。また、メール相談、男性相談、LGBT相談と多様な業務に加え、2024年4月施行の困難女性支援法に呼応した居場所提供事業が定着しつつある。若年層の育成講座については、「ユースリーダー講座」として再編し大学の授業に組み込む形で始動した。弁護士相談についても、新たな依頼先を開拓し相談者支援の強化を図った。なお、相談員の資質向上維持のため、研修受講を積極的に推奨している。

② 多様な開講形式による講座等の開講

昨年に引き続き、NPO 法人全国女性会館協議会（資金提供：日本テトラパック株）の助成事業を活用することで、減額となった事業費を補填した。

防災出前講座や人権出前講座などのアウトリーチ活動は着実に依頼が増えており、担当職員が経験を積み重ね、知識やプレゼン能力を向上させ、講座の質を高めることができた。

③ 多様な媒体を活用した情報の発信

・図書事業

図書コーナーの運営においては、読書離れや人口減少などの影響により、利用者数の減少傾向が続いている。そのような中、職員は、書籍の魅力が伝わる展示方法の工夫や、国際女性デーをはじめとする年間行事に関連した企画展示、SNSを活用した情報発信など、経費を抑えながら利用促進

につながる取組を行い、利用者数の維持に努めた。

・ニュースレター

ニュースレターについては、年4回、各1,000部を発行し、公共施設をはじめとする市内各施設へ配架した。各号では、No, 112号「もりおか女性センター開館25周年『バトンをつなぐ』」、No, 113号「ジェンダー視点の防災」、No, 114号「戦後80年」、No, 115号「令和7年度事業を振り返って」を特集テーマとして取り上げ、地域や社会課題に関する情報発信に努めた。

・ホームページ、SNS

ホームページ及びSNSを活用については、地域を超えた情報発信に努めた。年間事業テーマに合わせてホームページのバナーを変更するなど、視覚的な啓発・周知にも取り組んだ。また、利用者の多いXやInstagramについては投稿回数が前年比減ではあるが、講座や事業等に関する正確な情報発信に努め、閲覧者数が増加した。

④ 市民、市民団体との連携・協働の強化

市民及び市民団体等の活動の場として管理・提供している生活アトリエ、交流コーナーに関しては、アンケート等を通じてニーズを把握し、利用しやすい環境の整備に努めた。市民団体支援事業に関しては、昨年度に申請と審査の方法を簡略化したことで、活発に活用できる環境を整備し、新たなグループの申請につなげることができた。

⑤ 調査研究事業

実施しなかった

⑥ 職員の資質向上・就労環境整備

内部及び外部研修への参加機会の確保に努め、職員の資質向上維持を図った。また、職員が安心して能力を発揮できる就労環境づくりのため、例年実施しているアンケートに加え、上期・下期の2回、職員面談を実施し、意見聴取の機会を設けた。

2 業務委託事業

(1) 配偶者等暴力防止事業委託（盛岡市）

配偶者間暴力（DV）支援には、個別の問題としてではなく社会構造の課題として捉えることが肝要なため、DV構造への理解と心理的支援を主軸に据えた支援を特徴としている。配偶者等暴力相談支援センターの機能を活かし、DV証明の発行をはじめ、被害者の自立に繋がる支援を継続している。また、早期の包括的性教育の必要性に注目され始めたのを契機に、市内中学校から人権出前講座の依頼が寄せられるようになったので、今後も人的ネットワークを活用し広げていきたい。

3 自主事業

(1) 生徒・学生のための人権出前講座

盛岡広域外からの依頼はなかった。

(2) 啓発事業

①講師派遣事業

県議会からの依頼を受け、議員を対象とした勉強会において「若年女性の首都圏等への域外流出の実態と要因」をテーマに、もりおか女性センターの活動事例を交えながら講師を務めた。また、同伴に関して追加の依頼があり、理事長が講師を務めた。さらに、企業・団体等からの講師依頼にも対応した。テーマは多岐にわたるものの、これらの講師活動を通じ、男女共同参画の基本理念である自他の尊重に基づく視点の普及・浸透に寄与した。

②みちのくアカデミアの開講

2年目に入り、「なぜ差別はなくなるのか」「差別を根絶するための取組課題」について、特に、経済格差の拡大と差別の深刻化について、受講者との意見交換を通じて体系的に学ぶ場として定着しつつある。

II 事業の実施に関する事項

1 特定非営利活動法人に係る事業

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
指定管理事業	もりおか女性センターの管理運営事業の受託	通年	もりおか女性センター	11	28,023人	62,733
業務委託事業	盛岡市配偶者等暴力防止事業の受託			2	1,461件	4,321
自主事業	生徒・学生のための人権出前講座			2	-	-
	講師請負事業			各1		0
	みちのくアカデミア	3	44人	12		
管理運営部門	NPO法人全国女性会館協議会女性事業	9月		2	8組(16人)	199

(事業費合計 67,265千円)

2 その他の事業

実施しなかった

3 その他

(1) 総会開催状況

	開催日	開催時間	会場	出席者
定期総会	5月21日	15:30~17:00	もりおか女性センター	理事長他10名

(2) 理事会開催状況

	開催日	開催時間	会場	出席者
第1回	4月25日	14:00~16:05	オンライン・	理事長他8名
第2回	5月21日	13:10~15:00	もりおか女性センター	理事長他9名
第3回	6月30日	17:30~19:45		理事長他8名
第4回	8月1日	17:30~19:40		理事長他8名
第5回	9月15日	10:00~11:40		理事長他8名
第6回	10月17日	18:00~19:00		理事長他8名
第7回	11月13日	18:00~19:10		理事長他8名
第8回	1月16日	18:00~18:55		理事長他8名
第9回	2月27日	18:00~19:00		理事長他6名
第10回	3月23日	18:00~19:00		理事長他8名

(3) 職員研修会

開催日	内容	講師
6月9日	ジェンダー情報リテラシー スキルUP セミナー	一般社団法人LEO-G代表理事 堀久美 様

Ⅲ 各種事業内訳

1 指定管理事業

(1) 施設利用状況

(上段＝今年度実績、下段＝前年度実績)

開館日	開館時間	開館日数	利用者数	(左記の内訳)		
				事業参加	団体利用	個人利用
月～金	9:00～21:30	347日	28,023人	6,212人	3,089人	18,722人
土日祝日	9:00～17:00	(347日)	(26,460人)	(5,695人)	(3,159人)	(17,606人)

※個人利用は、相談及び図書利用を含む。

(2) 各種講座事業実績一覧表

※形式は、「K」＝会場・「O」＝オンライン・「H」＝会場とオンラインのハイブリッド。

定員及び実数(延)は、上段＝合計の数・中段＝会場の数・下段＝オンラインの数を示したものである。

区分	形式	開催日	事業名	回数	定員 (人)	実数 (延べ人数)
全体事業	K	6/13～27	男女共同参画週間もりおか展 2025 ①講演会：地方女子はなぜ生きづらい？ ～私たちが生きやすい社会をつくるには～ ②展示等：事業関連パネル・図書展示・DVD上映	15日間	①130 (当初100) ②—	683 ①120 ②563
	K	9/12～19	もりおか女性センターフェスティバル 2025 ①映画会：『黒川の女たち』2回上映 ②展示：利用団体活動紹介・女性起業家事業紹介展示	8日間	①映画会 各100 ②—	521 ①映画会 209 ②312
	K	11/12～25	なくそう！女性に対する暴力 2025 テーマ「性暴力をなくそう！」 街頭キャンペーン、パープル・ライトアップ、事業関連展示	14日間	—	2,266 街頭キャンペーン 1,521 センター来場者
連携事業	K	5/16, 21	盛岡市 令和7年度DV被害者対応研修	1	30	36
	O	5/23	岩手大学 女性のキャリア形成支援リカレントプログラム 2025 ベーシックコース カリキュラムI・実践的スキルアップ セミナー「社内で使える！仕事に役立つ！論理的プレゼンテーション術」	1	— 連続 20 一般 30	36 連続 18 一般 18
	K	9/23	日本テトラパック(株)助成事業 基本の『キ』！ひとり親ファミリークッキング DAY	1	8組	7組 17人
	O	1/15	令和7年度盛岡市多様な人材の活躍推進 フォーラム 人手不足を乗り越える！働き方改革で実現する 選ばれる企業づくり ～女性活躍・男性育休取得推進に効く、明日から出来る ダイバーシティマネジメントのコツ～	1	50	26

区分	形式	開催日	事業名	回数	定員 (人)	実数 (延べ人数)
市民団体支援事業	K	10/15	団体名：防災アクショングループ ワークショップ 男女共同参画の視点を取り入れたみんなが 安心できる避難所にするために	1	25	19
	K	11/1	団体名：ジェンダーカフェ in もりおか 勉強会 セクシュアル・マイノリティに対する 性暴力とサバイバー支援	1	20	9
	K	12/13	団体名：Compass 講演会 「離婚後共同親権」について知ろう！ ～離婚後の未来を描くために～	1	30	44 内アーカイブ23
主催講座	K	6/22, 28, 7/5	ジェンダー論講座 LOOK at MOYAMOYA 2025	3	15	78 内アーカイブ24
	K	9/28, 10/9, 23	防災連続講座 多様な視点で学ぶ「わたしたちの防災」 ①連続講座②公開講座	3	①15 ②35	55 ①32 ②23
	K	6～2月	防災出前講座 「女性・高齢者・障がい者など 多様な視点から防災を学んでみよう」	通年	—	9地区 253人
		【内訳】	6/3 藪川地区公民館（9人） 7/23 若園町町内会（8人） 8/9 飯岡地区民生児童委員協議会（18人） 8/30 盛岡市総合防災訓練（72人） 10/5 防災スキルアップ研修会（76人） 10/6 小山町内会（26人） 10/11 東緑ヶ丘団地町内会（7人） 10/24 松園地区公民館（14人） 12/2 下米内町内会（23人）			
起業支援講座	K	5/31	Instagramで集客 ビジネス活用講座 実践編 ～ストーリーを投稿してみよう～	1	30	22
	K	11/24, 12/6, 20, 1/24	女性起業芽でる塾 ①連続講座 ②公開講座（先輩女性起業家講演会・ チャレンジショップ）	4	①20 ②30	197 ①66 ②38 来場者93
	K	1/23, 2/6, 13	就労支援講座 リアルトークからはじまる わたしたちの就職	3	12	22

区分	形式	開催日	事業名	回数	定員 (人)	実数 (延べ人数)
相談事業	K	5/19, 22, 11/7	ユースリーダー講座	1	—	2校 134人
	K	【内訳】	5/19 岩手県立大学 社会福祉学部 3・4年生 (29人) 5/22 盛岡大学 文学部 社会文化学科 (16人) 11/7 盛岡大学 文学部 社会文化学科 (89人)			
	K	1/31 2/21	みんなのおしゃべりルーム テーマ：親子関係 テーマ：夫婦関係	各1	各5	7
	K	原則 第4水曜日	ウイメンズサロン・ゆるり	各1	—	56
	K	4～3月	生徒・学生のための人権出前講座 「大切なわたし 大切なあなた」	各1	—	9校 1,597人
	K	【内訳】	6/16 星北高等学園 (93人) 7/9 盛岡市立仙北中学校 3年生 (208人) 7/14 岩手県立南昌みらい高等学校 1年生 (336人) 8/19 盛岡中央高等学校附属中学校 3年生 (39人) 9/29 江南義塾高等学校 (297人) 9/30 岩手県立盛岡北高等学校 2年生 (207人) 10/30 盛岡市立上田中学校 3年生・PTA講話 (135人) 11/4 岩手県立雫石高等学校 (25人) 3/19 岩手県立盛岡第四高等学校 1年生 (257人)			

○生理用品配布事業

令和3年度から開始の生理の貧困に悩む人を対象に窓口にて、生理用品を無料で配布した。

配布対象者：339人(延べ)

購入数：146個

寄付等：188個

(3) 相談事業

①開設状況

区分	曜日	時間	開設日
女性相談	月～金	10：00～17：00	243日
LGBT相談	水・木	10：00～20：00	
法律相談	月1回	14：00～16：00	12日
男性相談	月1回	10：00～12：00	12日

②相談件数及び相談件数推移

	令和7年度 (2025)	令和6年度 (2024)	令和5年度 (2023)	令和4年度 (2022)	令和3年度 (2021)
面接	705件	757件	790件	758件	772件
電話	718件	637件	713件	649件	1,066件
メール	38件	46件	38件	36件	46件
合計	1,461件	1,440件	1,541件	1,443件	1,884件

③世代別相談件数

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	合計
12件	81件	291件	377件	349件	114件	132件	16件	89件	1,461件

④主題別相談件数

生き方	ところ	からだ	仕事	夫婦	家族	対人	暴力	暮らし	その他	合計
93件	127件	2件	12件	840件	255件	89件	21件	15件	7件	1,461件

※「暴力」は、性暴力・セクハラ・デートDV・ストーカー等

再掲		
DV	デートDV	ストーカー
798件	8件	4件

(4) 情報事業

①図書事業

(上段=今年度実績、下段=前年度実績)

蔵書冊数	貸出冊数	貸出人数	新規登録者数
8,361冊	2,086冊	1,212人	78人
(8,483冊)	(2,276冊)	(1,384人)	(63人)

②ホームページ

(上段=今年度実績、下段=前年度実績)

HP 閲覧件数	HP 更新回数	左記のうち			
		HP	X	Instagram	芽でるネット
21,758件	554回	119回	166回	148回	121回
(17,503件)	(616回)	(95回)	(204回)	(176回)	(141件)

※Instagram 「芽でるネット」でアカウントを取得。令和5年6月9日運用開始

③ニュースレター

発行	部数	配架先
年4回 No, 112~115	各1,000部	県内市町村男女共同参画関連窓口、盛岡市公共施設（地区活動センター、公民館、図書館、子育て施設、病院など）、民間団体（ふれあいランド、サンライフ等）、岩手県内大学、その他商業施設、飲食店等

④調査研究事業

発行	タイトル
実施なし	

⑤その他の啓発

実施なし

⑥報道履歴

（上段＝今年度実績、下段＝前年度実績）

種別	件数	主な内容
取材記事投稿件数（新聞・情報紙等）	9件 (4件)	事業結果の取材「男女共同参画週間 もりおか展」「もりおか女性センター フェスティバル」「ひとり親支援講座」、広報もりおか3月1号他
〃 (テレビ・ラジオ)	2件 (2件)	事業結果の取材「女性に対する暴力をなくす運動」「女性起業芽でる塾」
事業周知記事掲載件数（新聞・情報誌等）	20件 (12件)	※広報もりおか「イベント情報」欄の掲載を除いた数
〃 (テレビ・ラジオ)	2件 (1件)	「もりおか女性センター フェスティバル」、男性相談

(5) 運営委員会開催状況・外部の受入れ

区分	月日	来館者	内容
運営委員会	5/19	—	令和6年度下期事業報告
	12/16	—	令和7年度上期事業報告
外部の受入	4/4	新日本婦人の会 岩手支部	【ヒアリング調査協力】 ・性暴力に関するアンケートとヒアリング調査への協力
	6/3	岩手県議会事務局	【視察対応】 ・若年女性支援調査対応
	7/2	岩手大学 教育学部3年生	【男性相談についてヒアリング】 男性への性暴力の実態と支援策について

区分	月日	来館者	内容
外部の受入	7/7	陸前高田市議会議員	【視察・情報交換】 ・「上野千鶴子さん講演会」について
	8/8	盛岡市立高等学校2年 (1名)	【ヒアリング対応】 「生理の貧困」について
	8/26	岩手大学 人文社会科学部 (1名)	【インターンシップ】 女性センター概要説明、情報誌についてモニタリング
	9/2	岩手県立大学 社会福祉学科 (1名)	【インターンシップ】 女性センター概要説明、相談事業、情報誌についてモニタリング
	10/22	目黒女性団体連絡会	【交流】 ・当センターの活動紹介、施設説明 等
	12/2	岩手県立南昌みらい高等学校 1年生 (6名)	【総合的な探求の時間】 ・ジェンダーミニ講義、意見交換

2 業務委託事業－盛岡市配偶者等暴力防止事業

(1) 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数及びDV証明発行件数等

○相談件数 1,461 件 (内訳：面接相談 705 件、電話相談 718 件、メール 38 件)
うちDV相談 798 件 (内訳：面接相談 425 件、電話相談 361 件、メール 12 件)

○DV証明発行 総数 92 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	8件	6件	12件	10件	4件	4件	9件	6件	9件	7件	7件	10件

○緊急宿泊事業 総数 1 件 (2泊)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0

○弁護士による法律相談 総数 22 件

原則毎月第3火曜日 14:00～16:00

場 所：もりおか女性センター

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	3件	2件	0件	1件	3件	0件	2件	2件	2件	2件	3件	2件

3 自主事業

(1) 生徒・学生のための人権出前講座

実施なし

(2) 啓発事業

① 講師派遣事業

区分	形式	開催日	事業名	主催者	対応
講師派遣請負事業	K	6/14	ジェンダーの基礎的理解を深めるために～個人的課題と社会的課題をつなぐ、そして課題解決へ～	岩手地域協ジェンダー平等推進委員会	植村理事
	K	7/1	ジェンダー平等の視点での現状と課題～女性の視点でモヤモヤと向き合う～	退職女性教師東北ブロック	高橋副理事長
	K	7/18	わたしにとっての「女性活躍推進」とは	電機連合東奥羽地方協議会・岩手地域協議会	植村理事
	K	8/6	人口減少・若年女性支援等の取組	岩手県議会事務局	植田理事長
	K	2/6	アンコンシャスバイアスを個人の側面で捉え、それが社会にどう影響を与えるのか、考えよう	社会福祉法人カナン学園	植村理事
	K	3/4	ジェンダー視点で考える誰もが働きやすい職場づくりとは	東北財務局盛岡財務事務所	植村理事

②みちのくアカデミアの開講

区分	形式	開催日	事業名	回数	定員	実数(延)
アカデミア	K	7～3月	みちのくアカデミア	—	各 10	44
		【内訳】	＊『(使用のテキスト名)』 第15回(5/28) 総集編(4人) 第16回(6/25) 総集編(2人) 第17回(7/22) 総集編(6人) 第18回(8/22) 『実力も運のうち—能力主義は正義か?』 『ヒルビリー・エレジー アメリカの繁栄から取り残された白人たち』(7人) 第19回(9/24) 『実力も運のうち—能力主義は正義か?』 『ヒルビリー・エレジー アメリカの繁栄から取り残された白人たち』(7人) 第20回(10/29) 『実力も運のうち—能力主義か?』(5人) 第21回(11/26) 『実力も運のうち—能力主義か?』 『分離はやっぱり差別だよ』(6人) 第22回(3/24) 『100de名著 ヘーゲル「精神現象学」』(7人)			

(3)その他

実施なし